

もの忘れ相談チェック表

こんな症状をいくつか感じたり、どれかが半年以上続いたら「もの忘れ相談医」にご相談ください。

- ①何度も同じ事を言ったり、尋ねたりする。
- ②物の名前が思い出せない。
- ③しまい忘れや置き忘れがある。
- ④時間や場所の感覚が不確かになってきた。
- ⑤慣れている場所で道に迷った。
- ⑥財布を盗まれたと言う。
- ⑦テレビ番組の内容が理解できない。
- ⑧だらしなくなった。
- ⑨「頭が変になった」と本人が言う。
- ⑩料理、片付け、計算、薬の管理などのミスが多くなった。

もの忘れ相談医とは

もの忘れが心配なご本人や、認知症を疑ったご家族の相談を受け、地域や職域で認知症の人や家族を支援するかかりつけ医です。

また専門医により診断を受け治療方針が決定された患者に対して、かかりつけ医として治療を継続し、福祉との連携を図る医師です。

お気軽にご相談ください。

